

質問書に対する回答

件名) 横浜新道 新保土ヶ谷 I C ~ 川上 I C 間付加車線工事

No.	質問箇所	質問事項	回答
1	入札公告(説明書) 4-2. 技術評価の評価項目等	評価項目に記載されている「材料取卸し」とは、トラック等で鋼管杭もしくはコンクリート防護柵を搬入した際の荷台からの荷卸しのことを指しているのでしょうか。鋼管杭もしくはコンクリート防護柵の設置作業については、取卸しとして定義しないと考えるよいでしょうか。	そのとおりお考えください。
2	入札公告(説明書) 4-2. 技術評価の評価項目等	評価項目に記載されている「他責事故」について、車線規制時に一般車両を対象に行う安全対策は、他責事故に対する対策として評価対象外になるのでしょうか。	一般車両が原因となる他責事故に対する安全対策は評価対象外となります。
3	設計図【遮音壁・雑工】 6/53 遮音壁割付図(1) について	当該図面には距離程「(K P. 5+94~5+195付近(上))」と表記されていますが、始点側K P. 5+94、延長68mが正であれば終点側は5+162と考えるよいでしょうか。	始点、終点は、設計図【遮音壁・雑工】6/53の展開図に示すとおりです。
4	設計図【遮音壁・雑工】 7/53 遮音壁割付図(2) について	当該図面には距離程「(K P. 5+170~5+195付近(上))」と表記されていますが、始点側K P. 5+170、延長24mが正であれば終点側は5+194と考えるよいでしょうか。	始点、終点は、設計図【遮音壁・雑工】7/53の展開図に示すとおりです。
5	設計図【遮音壁・雑工】 18/53 遮音壁構造図(8) IV-0 (H=3.5m) M I 共用部 について	当該図面には「共用部」と表記されていますが、適用位置(距離程区間)が不明です。他の構造図同様、距離程を表示していただけないでしょうか。	設計図【遮音壁・雑工】9/53の展開図に示すとおりです。

6	設計図【数量総括表 (1)】6/15 2-(6) 構造物掘削 普通部C、普通部Dの数量について	本線掘削量土量の計上数量については、それぞれの数量算出を特記仕様書に基づいておこなわれているようですが、【本線】土工図には普通部C、普通部Dの範囲と数量に明記がなく数量根拠が確認できません。適切な機械配置を考慮するうえでは普通部C、普通部Dへの土量配分数量の内訳が必要と考えますのでこれらの数量を具体的にご教示ください。	土量配分については特に指定するものではありません。貴社の施工計画に基づきお考えください。
7	設計図【数量総括表 (1)】6/15 4-(3) 種散布工 散布工31.7m ² の数量について	【今井町BS】の種散布工数量は階段付近の数量は計上されているようですが、【本線】土工標準断面図(3)KP5.+120にはコンクリートブロック積天端にも種吹付Aが表示されています。この数量約100m ² は未計上のように思われます。数量の計算できる数値根拠をご教示ください。	設計図【本線】17/40に示すとおりとなります。
8	設計図【数量総括表 (1)】6/15 4-(9) セメントモルタル吹付工 セメントモルタル吹付30.2m ² の数量について	【擁壁工下り線】土工断面図には【擁壁工上り線】土工断面図のようにセメントモルタル吹付の施工範囲が表記されていないため数値根拠が確認できません。施工範囲を図示願います。	設計図【擁壁工 下り線】27/27に示すとおりとなります。
9	設計図【数量総括表 (7)】12/15 特-(1) 擁壁工 切斷A1 430.2mの数量について	【擁壁工下り線】鋼管杭杭頭切斷図には鋼管杭撤去数量表が添付されていますが、No. 49延長1,545mmの数値は計画図に1,645と記載があります。いずれの数値が正でしょうか。	計画図の1,645mmが正とお考えください。
10	設計図【数量総括表 (9)】13/15 特-(6) 仮設防護柵工 存置工A、B安全設備A、Bの各数量について	左記の数量を計算できる仮設材の設置範囲と期間の数値をご教示ください。	設置範囲は設計図【舗装工】33/82～42/82に示すとおりです。設置期間は、存置工Aについては、500m×10ヶ月、450m×7ヶ月、240m×3ヶ月、存置工Bについては、12.0ヶ月を想定しています。